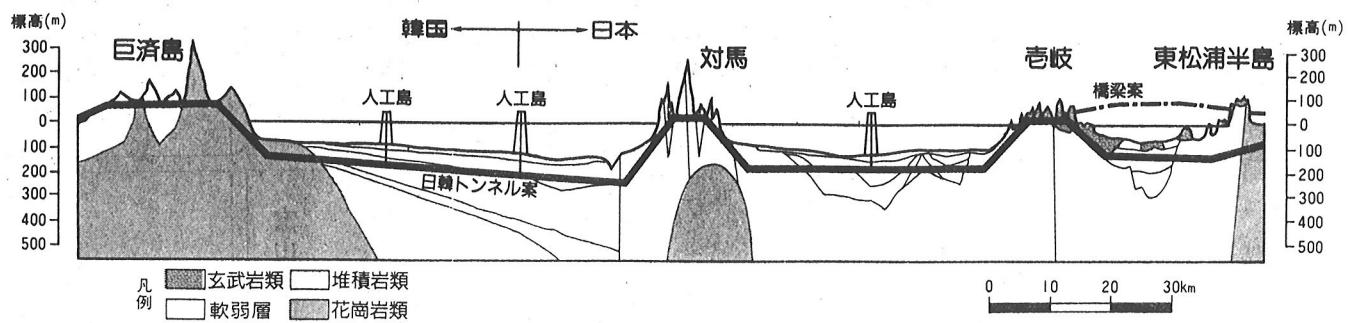


日韓海峡地質断面図及びトンネル計画図



(国際ハイウェイ建設事業団提供)

玄界灘が隔てた日本と韓半島。これをつないで、アジア大陸と結び、ヨーロッパまで足を延ばすという夢の「国際ハイウェー構想」は、二十一世紀にかける大きな夢だ。「東の果て」の日本・九州から「西の果て」、英國ロンドンまでをつなぐ。
英國とヨーロッパとの間に、は昨年五月、ユーロトンネル（英仏海峡トンネル）が開通した。ロンドン—パリ間を約三時間で結ぶ特急列車「ユーロスター」は営業を開始。すでにユーラシア大陸の西の玄関が開かれた。

業団(梶栗玄太郎理事長)が調査活動を行っており、ルートの選定中。調査のための斜坑はすでに四百十㍍掘り、千二百㍍まで掘り進める予定だ。掘削場所は肥前名護屋城跡地の近く。

今から約四百年前、太閤・豊臣秀吉が朝鮮侵略の火ぶたを切った前線基地。斜坑周辺も、当時、全国から集められた大名の陣屋跡だ。文禄・慶長の役(一五九二一九八)は、日韓双方に深い傷跡を残し、戦前日本帝国時代の朝鮮植民地化政策とも重なり、日本・加賀国・朝鮮・被害国の正式を浮かび上がらせている。

名護屋城跡の天守閣あたりの場所には、玄界灘の潮風にさらされて句碑が立つ。太閤が睨みし海の露哉

月 斗

この韓国については「怨讐の地」から、世界平和の大動脈となる国際ハイウェーの東の玄関を開くには、韓国の理解と協力が不可欠になる。城跡には一九九三年十月、名護屋城博物館がオープン。韓国学者、文化人などを招いて

博物館には文禄・慶長の役をテーマにした「日本列島と朝鮮半島との交流史」が常設展示される。日本側の反省と謝罪を含め、太閤の「負の歴史遺産」を清算し、友好と平和を語り始める。

韓国人を妻に持つ名護屋城博物館学芸課員は「反日感情の強い韓国の学者・文化人も、常設展を見終ると態度が和やかになる。日本人は、謝罪する以上に韓国人と歴史について双方の主張をぶつけあう努力が必要で、それが恨みを解くことになる」と話す。

名護屋城三の丸の広場に朝鮮力ササギが数羽、舞い降りた。四百年前に朝鮮から人々と共に連れてこれらた吉島村で、韓國や北朝鮮の片田舎で見る光景と変わらない。

ここから出発する日韓トンネルには、技術的な問題はないのだろうか。斜坑の工事を

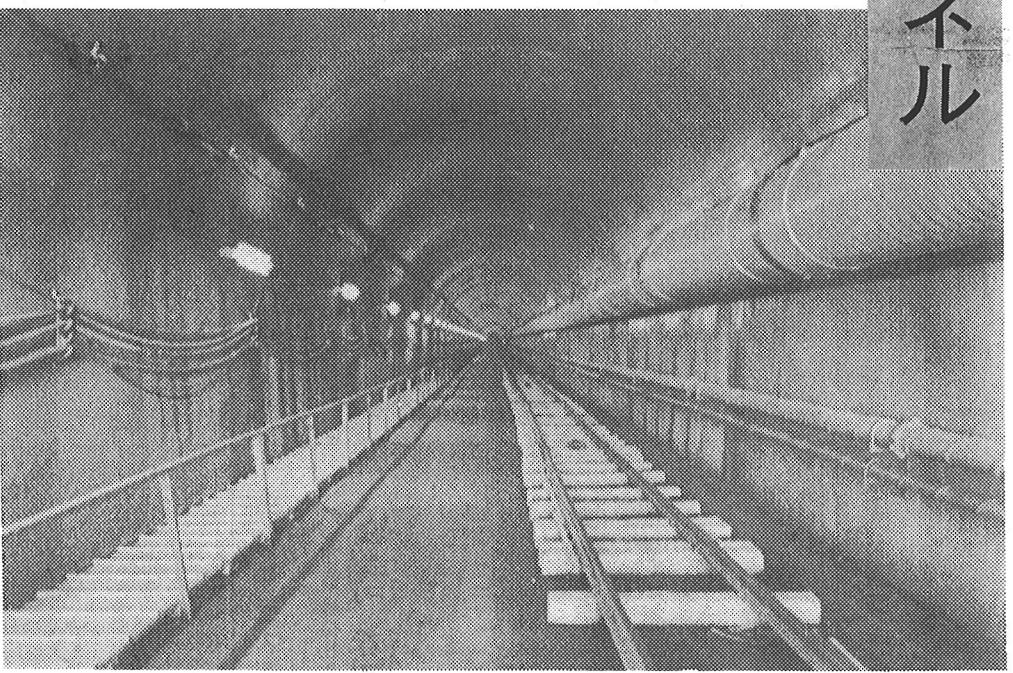
請け負っている極東開発の関係者は、「トンネルを掘る上で難しいのは対馬・韓国間にある断層だが、技術的には問題はない」と話す。

これまで九州北部や青森、対馬周辺、韓國・巨濟島沿岸などボーリングを行った。佐賀県唐津町から韓国本土までの日韓トンネルのルート・

は、全長三三五十五キロメートルで、完成すれば世界最長になる。トネルは青嶺、対馬の二つで、陸上に上がる。対馬から巨濟島までは約六十キロメートルの大プロジェクトだ。

佐賀県鎮西町の日韓トンネル名護屋調査斜坑（国際ハイウェイ建設事業団提供）

掘削進む日韓トンネル



佐賀県鎮西町の日韓トンネル名護屋調査斜坑（国際ハイウェイ建設事業団提供）